

アートプロジェクト「CLEAN HIKES, GREEN PEAKS」

篠原ともえさん インタビュー

高尾エリアをメインの会場として行われるアートプロジェクト「CLEAN HIKES, GREEN PEAKS」。地域の人々の手によって守られてきた高尾山の自然の美しさを賛美するメッセージを込めて、この思いをバッグとして届けます。また、高尾や自然環境、アートとさまざまなものに思いを巡らせ、それを発信できる参加型のアートプロジェクト。今回の企画を行うにあたり、デザイナー／アーティストの篠原ともえさんに、制作に込める思いをインタビューしました！

高校時代を八王子で過ごされたとお聞きしました。篠原さんにとって八王子とはどんな街でしょうか？

小さい時から絵を描くことや服作りが好きで、10代の頃にはすでにデザイナーを夢見ていたのですが、そうした専門分野が学べる八王子工業高校（現・桑志高等学校）へ進学しました。八王子地域は養蚕や織物をはじめ、古くからさまざまな産業が盛んで、教育面からも地元の産業をサポートするという体制があつて「技術のまち」という印象が強いです。私がいた応用デザイン科では、デザインにまつわる実技を一通り学ぶことができたので、現在携わらせていただいているお仕事への基盤を養えた場所でもあります。また、デザイナーとともに夢だった芸能界への扉が、まさに八工生の時に開いたので、10代のエネルギー溢る時代を過ごした街でもありますね。

今回、高尾などの地域で開催される八王子芸術祭では、どんな企画を提案されたのでしょうか？

今回、あらためて高尾山についてリサーチを行う中で、地域団体の皆さんがゴミ清掃を50年ほど前から自主的にされ、「ゴミ箱撤去」を最初にはじめた山ということを知りました。霊山である高尾山に対する畏敬の



念がそこにはあり、地域の皆さんの「お山」を大切にすることやお気持ちに感動しました。そうした地元の方々の行動や思いを発信し、さらにそれが高尾を訪れる多くの方々へと広がっていくものになればと考え、最終的にメッセージバッグの制作とその配布をご提案しました。着想はゴミを持ち帰ってもらうことやエコバッグからきているのですが、ファッション性を意識しつつ、芸術祭という場で多くの方を巻き込んで拡散していける参加型のアートプロジェクトを目指しました。

バッグにはどんなメッセージが込められているのでしょうか？

お山を含む自然への敬意、またその自然を守ってくださる地域の方々、そして、高尾を訪れるすべての方への感謝の気持ちを込めて、また、世界も意識して「CLEAN HIKES, GREEN PEAKS」としました。「クリーンな山歩きが、緑美しい山々を育む」といった意味ですが、多くの登山者がありながら「ゴミのない高尾山でいられることは、皆さんの力によるもの。そして、山々が綺麗であれば、それを活かさない意識が芽生え、自然とゴミを持ち帰るなど好循環が生まれます。「循環」をひとつのテーマに考え、バッグの原料は高尾の間伐材を活用することにしました。森の健康を守るための定期的に実施される間伐ですが、その後の処理に手間がかかるため、伐採された木はそのままにされることもあると知りました。山々を美しく健やかに保つために切られた木だからこそ、バッグへ再利用し、それをお山を訪れる方々へ配布できれば今回私たちの掲げるメッセージが伝わらると思うんです。

高尾を巡りどんな印象を持ちましたか？

視察を兼ねてあらためて高尾を巡らせていただいたのですが、緑が美しくお蕎麦も美味しい！この地の魅力をより多くの方にまだまだ

知っていただきたいと感じました。今回のプロジェクトは根底に、地域の皆さんや高尾の自然に還元できる何かをという想いがあります。それは、これまで地元の方々が残したオーラルヒストリーなどを読ませていただき、率直な声を聞くことができたからです。そうしたお声がメッセージバッグのアイデアにもなっているので、高尾の皆さんへこの作品を通して少しでもお礼ができたかと思っています。

八王子芸術祭にお越しになる皆さんへメッセージをお願いします。

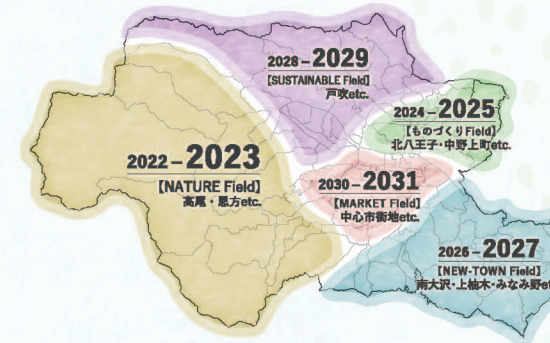
第1回目の八王子芸術祭に向け「CLEAN HIKES, GREEN PEAKS」というメッセージバッグを高尾の間伐材で制作しました。バッグは限定ではありますが、無料で配布する予定です。このプロジェクトを通して地域の皆さんをはじめ、芸術祭にお越しくださる方々が、高尾から自然環境やアートについてなどさまざまな思いを巡らせ、「コミュニケーション」を育んでいただけるものになればと願っています。またこのバッグは持ち歩くアート作品でもあるので、受け取った方は美しい高尾の風景や地域の方などとともに、写真に撮ってSNSにあげていただけたら嬉しいです。皆さんの想いをメッセージバッグに乗せてどんどん世界に発信してください！



芸術祭視察で訪れた際、高尾山回駅周辺にて

地域の魅力を発見しながら様々なアートや芸術を楽しめるフェスティバルが2023年秋に新たにスタートします。コンセプトは『旅する芸術祭=Arts Journey』。市域が広い八王子の特徴を活かし、市内を5つのフィールドに分け2年ごとに巡ります。初年度となる今年は、自然豊かな、高尾・恩方周辺地域が舞台！“自然に潜む美しさを探る旅”を副題に添えて、美術や音楽、演劇、映像など様々なジャンルで開催します！

- ◆ 開催時期：9～10月
- ◆ 会場：高尾・恩方周辺地域（高尾599ミュージアム、タヤけ小やけふれあいの里 ほか）



日程や会場など、詳しくはホームページをご覧ください。→



特集

八王子芸術祭

八王子芸術祭
ホームページ

開催予定イベント！



©Makoto Ebi

音響彫刻「Kinon」の旅 ～楽器工房オープンDAY「音の鳴るひろば」～

恩方の木材など、森から生まれた音響彫刻「Kinon(キノン)」。

芸術祭期間中には、Kinonに自由に触って、鳴らして遊べる楽器工房オープンDAYを予定！

【その他の予定】

- CHART PROJECT in Hachioji(展示)
- 八王子芸術祭Radio『ハチタビの葉』(ラジオ)
- むかしむかし、あるお家に～アイコとユウスケのだいぼうけん～(演劇) ほか

うたとおはなし ～里山で芽吹く2日間～

自然とともにアートを楽しもう！
音楽やワークショップ、絵本展示
など盛りだくさんの2日間！

うたとおはなし ～里山で芽吹く2日間～

子どもから大人まで自然 × アートを楽しむ特別な秋の日

ドームシアター上映 『瞑目の森』

自然の神秘を映し出すアートな映像をドーム型テント内で上映！昆虫や植物をモチーフにした“つけまつげアート”で描く、生き物の生存戦略の世界を、没入感たっぷりのドーム内でお楽しみください。



『瞑目の森』

まちを彩る 『マチイロProject』

あなたのまちの、身近な場所が
ギャラリー＆コンサート会場に！



※開催予定地域・テーマ・タイトル等、内容が変更となる場合がございます。

スタッフに聞く！

八王子芸術祭の魅力

地域の魅力を発見しながら展開する芸術祭とはどんなものですか？

同じ山際の地域といっても、高尾・恩方・元八王子・小津・美山など、それぞれ違った雰囲気、顔を持っています。空気が澄んでいて凛とした気持ちになったり、ふるさとのあたたかさを感じたり。リサーチを進めていく中で、この豊かな環境を魅力に感じて、高尾・恩方周辺にアトリエやスタジオを構えて創作活動をされているアーティストの皆さんが沢山いらっしゃることを知りました。

アーティストの皆さんとこの地域を探索していくと、生物の多様性が保たれている不思議、自然の神秘、豊かな自然環境を守る人々の活動、地域が直面している課題などをテーマに作品に昇華していく過程が見られて、とてもワクワクしています。

どんな芸術祭にしていきたいですか？

企画をしながら、場所の持つ力を実感する毎日、八王子ってすごいところだなと改めて感じています。今後巡っていく地域にも、面白い場所、素晴らしい方々が待っているの、今からすでに楽しみです。また、多くの方が興味をもっていただけるような入口を広くあけて、一歩入ると奥深い世界が広がっている。そんな仕組みをつくれたら嬉しいですね。

「旅」が私たちに様々な出会いをもたらしてくれるように、この芸術祭がアートや芸術、場所、人との出会い、繋がり、きつかけになるような、たくさんの方の心に残る芸術祭になれば良いなと思っています。

(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団
芸術文化振興課 米倉 あり